令和7年度

市民福祉部の方針書

部　名	市民福祉部
部長名	大坂　智実

1. 部の使命（ありたい姿）

自然豊かな環境の中で、誰もが安心して健康に暮らせるまちづくりを進めます

担当政策	政策1：伸び伸び子育て出来る環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます 政策3：豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます
担当施策	1-1：子育て支援の充実　1-2：健康な心と体づくりの推進　1-3：健康でいきいきとした高齢社会の推進 1-4：障がい者（児）福祉の充実　1-5：低所得者福祉の充実　1-6：福祉を支える人材の確保と育成 3-1：安心してくらすことのできるまちづくりの推進　3-2：美しい自然環境と快適な生活環境の保全 3-3：災害に強いまちづくりの推進　3-4：循環型社会の一層の推進　3-5：エネルギーの地産地消の推進

2. 部の抱える課題（現状）

・子育て支援の推進
・重層的支援の推進
・健康寿命延伸施策の推進
・地域福祉の推進
・空き家対策の推進
・施設における専門資格を要する福祉専門員の確保・育成
・多様な住民ニーズに対応できる職員の資質向上

3. 今年度の『スローガン』

大事にすべきを守りつつ、気づきと改善で変化に挑戦する

4. 今年度の方針

問題点をしっかり捉え、適切な課題を設定し、行動して成果を生む

5. 今年度の重点取組項目

（1）	実現したい成果	気づきと改善による安定と革新
	取組内容	・業務日報による気づき改善の報告励行 ・気づき改善の習慣化による事務ミスの防止 ・ヒヤリハット事例の蓄積と考察 ・気づき改善の習慣化による職員提案の促進 ・定例記者会見、職員提案制度（政策提案、業務改善提案）等での発表
（2）	実現したい成果	健康福祉の充実
	取組内容	・健康寿命の延伸と生活の質向上（保健、栄養、運動） ・妊娠期から出産子育てまでの切れ目ない支援（妊婦乳幼児健診等、給付、サポート、保育施設学童整備） ・重層的支援（高齢者、障がい、こども、生活困窮、ひきこもり） ・地域包括ケアの推進（認知症予防、介護予防、在宅医療、地域共生社会） ・介護保険事業の適正運営（給付適正化） ・健全な市営介護サービスの運営（安全安心なケア、総合相談窓口の強化、効率的な入所調整） ・計画の策定（こども計画）
（3）	実現したい成果	安全安心便利な市民生活
	取組内容	・マイナ保険証への更新対応と医療費適正化推進 ・戸籍への振り仮名記載の対応 ・マイナンバーカードと窓口DXによるサービス向上の推進 ・空き家対策（計画的な略式代執行、相談窓口体制の構築） ・処理施設の整備と安定稼働（ペットボトル処理センター建設工事、南東地区最終処分場キャッピング工事、横手衛生センター設備改良設計） ・計画の策定と見直し（空家等対策計画、環境基本計画、一般廃棄物処理基本計画、気候変動対策実行計画、災害廃棄物処理計画、墓園整備構想）

6. 方針に対する年度上期（4月～9月）の取組状況

(1)気づきと改善による安定と革新
・9月末現在で、気づき（770件）、改善（353件）、ヒヤリハット（235件）、定例記者会見（15件）
・ミス防止や事務効率化に効果が現れている
・挑戦、改善、再発防止、未然防止にとりくむ組織風土の醸成につながっている

(2)健康福祉の充実
・各種健診の実施、栄養レシピの配信、運動のキッカケづくり
・こども家庭センターの設置、児童福祉部門と母子保健部門との連携強化のための情報システム検討
・こども若者相談窓口愛称決定(Yotte・Cotto)、ひきこもり啓発フォーラム開催
・医師会、相談支援機関、関係機関、わらび座や秋田大学との連携、認知症啓発イベント、シニアミュージカルの実施
　在宅介護支援センターへのブランチ機能委託
・第10期介護保険事業計画に向けた部署横断組織による検討
・健全な市営介護サービスの運営のため職員のスキルアップ研修と入所調整の強化
・こども計画策定委員会発足、若者世代ニーズ調査の実施、中学生によるワークショップ開催

(3)安全安心便利な市民生活
・マイナ保険証の周知とフレイル健診やフレイル予防講座の実施
・戸籍への振り仮名記載の確認通知を予定より前倒して送付を完了
・窓口DXのデモンストレーションにより具体的イメージを明確にした
　コンビニ交付への誘導策を部署連携で検討、増加傾向にあるマイナンバーカード更新時間を人員増により短縮
・空き家対策（計画的な略式代執行、相談窓口体制の構築）を予定どおり進めている
・処理施設の整備を予定通り進め安定稼働している
・計画の策定を予定どおり進めている

7. 年度下期（10月～3月）に向けた課題と取組方針【ギャップと対策】

(1)気づきと改善による安定と革新
・多くの職員の習慣化に向けて、挑戦を奨励するとともに、業務日報の活用とフィードバックを継続する

(2)健康福祉の充実
・健康事業の検証と改善、プレコンセプションケアの導入準備、啓発活動の継続
・児童福祉と母子保健連携の為の情報システム構築
・関連事業者との報告会や研修会の実施による相談支援体制の強化
・医療関係者とのさらなる連携
・介護保険事業の見直しと来年度予算化
・健全な市営介護サービスの運営に向け、対策の徹底、注意喚起、スキル向上、迅速な対応に努める
・こどもまんなかアクションリレーシンポジウムの開催とこども計画の策定

(3)安全安心便利な市民生活
・情報発信の継続と人間ドック助成事業やフレイル健診等の評価と来年度に向けた計画
・ガバメントクラウドによるシステム標準化への対応
・窓口システムの選定と動画等によるコンビニ交付の活用策実施
・空き家対策（計画的な略式代執行、相談窓口体制の構築）を実施
・ひきつづき処理施設の整備と安定稼働に努めるとともに、横手衛生センター基幹的設備改良工事の準備を進める
・計画の策定を完了する

8. 総括（取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】）